

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0079-2)  
FastGene™ Taq Extreme HotStart: 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)

初回作成日:2026年3月9日  
前回改訂日:一年一月一日  
最新改訂日:一年一月一日  
版番号:第1版

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1 化学品の名称

製品名	FastGene™ Taq Extreme HotStart
製品番号	FG-TE250HS (250 回用) FG-TE50HS (50 回用)
バッファー名	10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)

#### 1.2 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

#### 1.3 提供者の詳細

供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

### 2. 危険有害性の要約

#### 2.1 化学品の GHS 分類

危険有害性項目	危険有害性区分
物理化学的危険性	区分に該当しない/分類できない
健康に対する有害性	区分に該当しない/分類できない
環境に対する有害性	区分に該当しない/分類できない

#### 2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	
物理的危険性	該当しない
健康有害性	該当しない
環境有害性	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない

### 3. 組成及び成分情報

#### 3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

**安全データシート(SDS 番号: SDSFG0079-2)**  
**FastGene™ Taq Extreme HotStart: 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)**

**3.2 化学名又は一般名**

	化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲
①	企業秘密 TRADE SECRET	企業秘密	1~5%
注意	本製品に含まれる成分のうち、組成や濃度が営業秘密に該当するものについては、関連法規に基づき、成分名を非公開、濃度を非公開もしくは幅記載としています。また、製品仕様上、濃度にばらつきがある場合は、幅記載としています。SDS に記載がなくとも、危険有害性を有さない成分、法令により開示義務のない濃度未満の成分が含まれている可能性があります。		

**4. 応急措置**

**4.1 応急措置**

吸入した場合	患者を空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚に付着した場合	皮膚を石鹸と水で洗うこと。
眼に入った場合	上下のまぶたを持ち上げながら最低 15 分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。

**4.2 その他の情報**

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

**5. 火災時の措置**

**5.1 消火剤**

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の消火方法	水噴霧で容器を冷却すること。 警告: 大規模火災の場合、放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。

**5.2 火災時の特有の危険有害性: 情報なし**

**5.3 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**

消火を行う者の保護	自給式呼吸器(SCBA)及び消火活動用の完全装備を着用すること。 個人用保護具を着用すること。
予防措置	情報なし

**6. 漏出時の措置**

**6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

人体に対する注意事項	十分換気されているか確認すること。
保護具	項目 8 で推奨されている個人用保護具を着用すること。
緊急時措置	情報なし

**6.2 環境に対する注意事項**

環境に対する注意事項	項目 12 を参照のこと。
------------	---------------

**安全データシート(SDS 番号: SDSFG0079-2)**  
**FastGene™ Taq Extreme HotStart: 10X Taq Extreme Buffer (Mg<sup>2+</sup> plus)**

**6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材**

封じ込め及び浄化の方法・機材	安全に実施できるのであれば、さらなる漏洩または漏出を防ぐこと。
	物質を回収し、適切に表示された容器に移すこと。
	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**7.1 取扱い**

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。
----------	-----------------------

**7.2 保管**

安全な保管条件	容器を密閉し、乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。
---------	-------------------------------

**8. ばく露防止及び保護措置**

**8.1 許容濃度等**

許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的許容値	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

**8.2 設備対策**

ばく露を軽減するための設備対策	シャワー、洗眼場、換気システム
-----------------	-----------------

**8.3 保護具**

呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。
手の保護具	特別な保護具は必要とされない。
眼及び/又は顔面の保護具	特別な保護具は必要とされない。
皮膚及び身体の保護具	特別な保護具は必要とされない。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態(外観/形状)	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(液体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限值	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし

**安全データシート(SDS 番号: SDSFG0079-2)**  
**FastGene™ Taq Extreme HotStart: 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)**

密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性(粒径、粒径分布)	データなし
爆発性	データなし
酸化性	データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件下で安定している。
危険有害反応の可能性	通常の条件下で安定している。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし
静電放電に対する感度	なし
機械的衝撃に対する感度	なし

**11. 有害性情報**

混合物としての情報の他、成分(原体)の有害性情報を以下に示す。

**11.1 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)**

危険有害性項目	内容
急性毒性	(経口)ATEmix = 61,014.00 mg/kg (経皮)ATEmix = 412,759.20 mg/kg (吸入 粉塵/ミスト)情報なし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
誤えん有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

**11.2 含有成分**

化学名又は一般名	経口 LD <sub>50</sub>	経皮 LD <sub>50</sub>	吸入 LC <sub>50</sub>
TRADE SECRET	2,600 mg/kg (ラット)	—	—

**12. 環境影響情報**

混合物としての情報の他、成分(原体)の環境影響情報を以下に示す。

**12.1 生態毒性**

**12.1.1 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)**

生態毒性	情報なし
------	------

**安全データシート(SDS 番号: SDSFG0079-2)**  
**FastGene™ Taq Extreme HotStart: 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)**

**12.1.2 含有成分**

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
TRADE SECRET	EC50 = 2,500mg/L (72 時間) ( <i>Desmodesmus subspicatus</i> )	LC50 = 1,060 mg/L (96 時間) ( <i>Lepomis macrochirus</i> ) LC50 = 750~1,020 mg/L (96 時間) ( <i>Pimephales promelas</i> )	EC50 = 825 mg/L (48 時間) ( <i>Daphnia magna</i> ) EC50 = 83 mg/L (48 時間) ( <i>Daphnia magna</i> )

12.2 残留性・分解性：情報なし

12.3 生物蓄積性：情報なし

12.4 土壤中の移動性：情報なし

**12.5 他の有害影響**

オゾン層への有害性	分類できない。利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
内分泌かく乱物質情報	情報なし

**13. 廃棄上の注意**

**13.1 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報**

製品及び残余廃棄物	内容物/容器は、関係法令及び地方公共団体の規則に従い、産業廃棄物として適切に廃棄すること。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険有害性を告知すること。
汚染容器及び包装	容器は再利用しないこと。

**14. 輸送上の注意**

**14.1 国際規制**

国連番号 (UN Number)	輸送規制の対象ではない。
品名(国連輸送名) (UN Proper Shipping Name)	輸送規制の対象ではない。
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	輸送規制の対象ではない。
容器等級 (Packing Group)	輸送規制の対象ではない。
海洋汚染物質	非該当
ユーザー向け特別注意事項	ADR/RID(陸上規制)、ADN(内陸水路規制)、IMO/IMDG-Code(海上規制)、ICAO/IATA-DGR(航空規制)で規制された危険物ではない。

**14.2 国内規制**

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

**15. 適用法令**

**15.1 該当法令**

化審法	非該当
化管法/PRTR 法	非該当
労働安全衛生法	非該当

**安全データシート(SDS 番号: SDSFG0079-2)**  
**FastGene™ Taq Extreme HotStart: 10X Taq Extreme Buffer (Mg2+ plus)**

毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
<b>廃掃法</b>	<b>産業廃棄物</b>
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当
火薬類取締法	非該当
高压ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農業取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当

## 16. その他の情報

この安全データシート(SDS)は、作成時点において入手可能な製品情報および危険有害性情報に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。このため、新たな情報を入手した場合には、内容を追加または訂正することがあります。また、本 SDS に記載された情報は、製品の通常の取扱いを前提として提供するものであり、すべての使用条件下での安全性を保証するものではありません。ご使用に際しては、実際の作業条件に応じて十分な安全対策を講じてください。

### 引用文献及び参照ホームページ等

- ・サプライヤー提供の SDS
- ・JIS Z 7252: GHS に基づく化学品の分類方法
- ・JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上